

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子

1 策定の趣旨

本戦略は、将来的な人口減少が避けられない中、自主・自立したまちづくりを進めていくため、そして、県都として、水戸都市圏のリーダーとしての役割を果たしていくため、歴史と伝統、芸術・文化、豊かな自然など、水戸ならではの個性と魅力を高め、にぎわいと交流を創出しながら、訪れてみたい、住んでみたいと思われるような、選ばれる魅力あるまちの構築に向けた実効性のある施策を積極的かつ集中的に推進していくため策定するものです。

2 基本的な考え方

本戦略は、水戸市第6次総合計画ーみと魁プランーに掲げた将来都市像「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する 魁のまち・水戸」の実現を目指していくことを基本に、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略における4つの基本目標（裏面参考参照）を踏まえ、次の3つの視点に重点を置いた計画とします。そして、人口減少問題の克服、地域成長力の確保を展望し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻していくため、本戦略における4つの基本目標を定めます。

(1) 重点を置く3つの視点

① しごとの創生

本市における重点課題である戦略的観光をはじめ、商業、農業、工業、さらには、新たな産業など、あらゆる分野の産業について、地域の資源や特性を生かした振興、持続的な発展を推進するとともに、幅広い分野における企業や事業所の誘致に取り組みながら、雇用の創出を図ります。

② ひとの創生

本市に住んでみたいと思われる、選ばれる居住環境の整備とともに、大学等と連携しながら、地域の活性化を担う人材の育成やしごとの創生に取り組み、若い世代の定住化を図ります。また、子どもを安心して生み、健やかに育てやすい環境整備とともに、将来の水戸を創造し、リードしていくことのできる人材育成の視点に立った水戸らしい教育の充実を図り、若い世代が希望をかなえられるまちづくりを推進します。

③ まちの創生

しごとの創生、ひとの創生を支える基盤づくりとして、人口減少社会に対応できる水戸市の地域特性を踏まえたコンパクトシティの実現に向け、都市中枢機能の集積や交通ネットワークを構築し、まちの活性化を図ります。あわせて、県都として、水戸都市圏のリーダーとして、広域的な経済・生活圏の活性化をリードします。

(2) 4つの基本目標

- ① 生き生きと働けるしごとを創る
- ② 新たなひとの流れを生み出す
- ③ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する
- ④ 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る

3 計画の期間、構成及び進行管理

本戦略は、2019（平成 31）年度を目標年度とし、計画期間は、2015（平成 27）年度から 2019（平成 31）年度までの5か年とします。

4つの基本目標ごとに、2019（平成 31）年度の達成すべき数値目標を設定するとともに、基本目標の実現を目指し、具体的施策を定め、その効果を検証できる重要業績評価指標（K P I）を設定します。

また、毎年度P D C Aサイクルによる検証を行い、必要に応じて見直しを行うものとします。

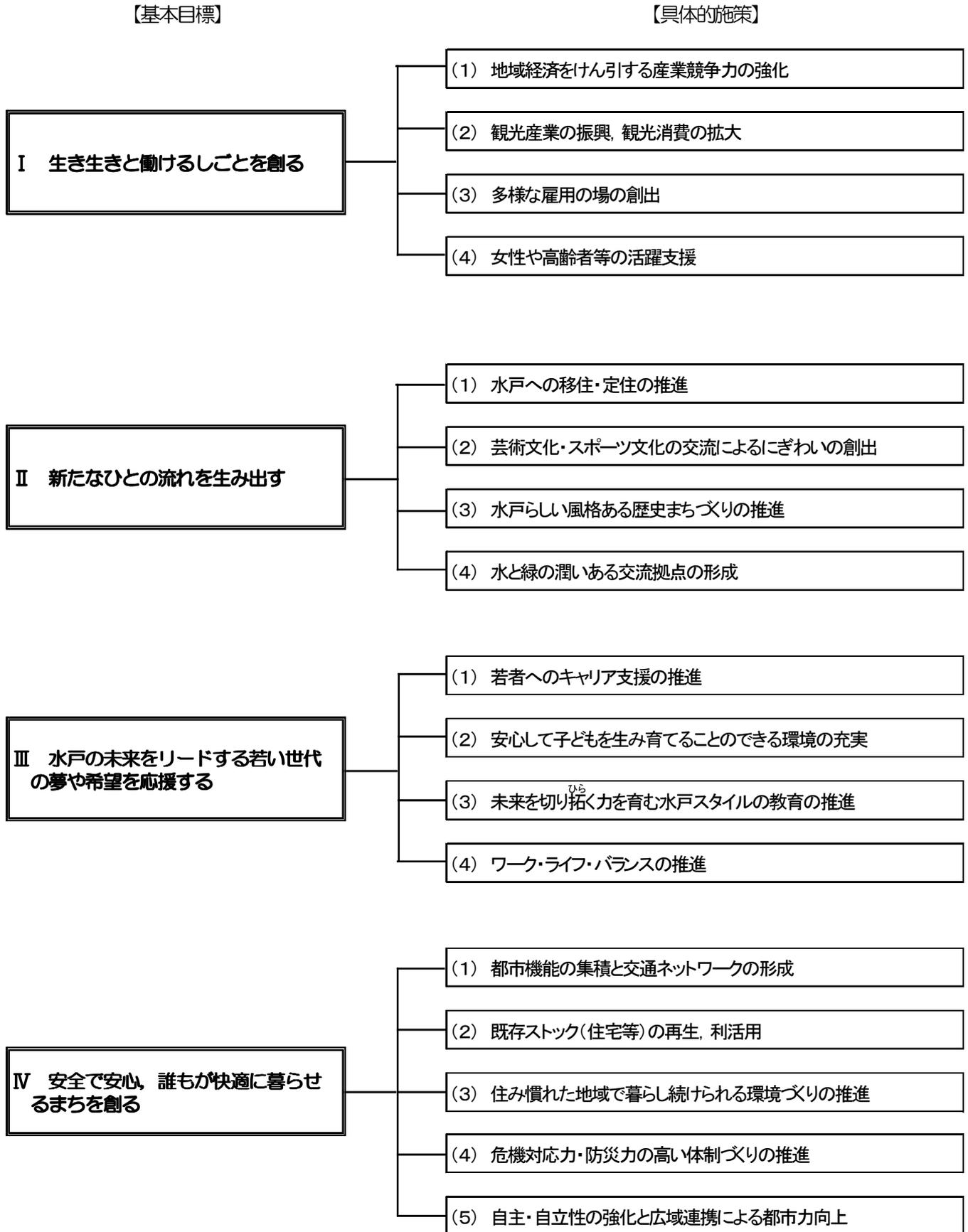
【参考】

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 26 年 12 月 27 日閣議決定）

【政策の基本目標（4つの基本目標）】

- 基本目標 1 地方における安定した雇用を創出する
- 基本目標 2 地方への新しい人の流れをつくる
- 基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

4 施策の体系



基本目標Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る

産業振興や雇用の創出は、安心して暮らせる経済基盤の構築を目指していく上で大変重要であり、推進していかなければなりません。

産業競争力の強化や観光産業の振興等によって、地域経済の活性化を図り、安心して働ける多様な雇用の場を創出していくとともに、安定的な経済活動につなげていくことを目指します。

【数値目標】

項 目	基 準 値	目 標 値 (2019 年度)
市内従業者数 ※資料：経済センサス	154,691 人 (2014 年)	
市内総生産 ※資料：県市町村民経済計算	1,230,037 百万円 (2012 年)	

〈例：国の基本目標(成果指標, 2020年)〉

- ◆若者雇用創出数(地方)・・・2020年までの5年間で30万人
- ◆若い世代の正規雇用労働者等の割合・・・2020年までに全ての世代と同水準(15～34歳の割合:92.2%, 全ての世代の割合:93.4%)
- ◆女性の就業率・・・2020年までに73%(2013年69.5%)

【基本的方向】

- これまで培ってきた本市の産業や新たな産業など、あらゆる分野の産業について地域の資源や特性を生かした振興を図ることにより、地域経済をけん引する産業競争力の強化を目指します。
- 本市の様々な資源を生かした観光産業の振興により、観光消費の拡大を図ります。
- 幅広い分野における企業や事業所の誘致、支援制度の利用促進に取り組み、雇用の創出とともに、新卒者等若者の地元での就職や定着を図ります。
- 女性や高齢者等が生き生きと活躍できる社会を目指します。

【具体的施策と重要業績評価指標 (KPI)】

【具体的施策1】 地域経済をけん引する産業競争力の強化

本市の産業、事業者の競争力・経営力の強化、地場産物のブランド力向上、6次産業化の促進などに取り組みます。

〈重要業績評価指標 (KPI)〉

項 目	基 準 値 (2014 年度)	目 標 値 (2019 年度)
空き店舗を活用しての 中心市街地における新規雇用者数	22 人	
6次産業化に取り組んでいる 農業経営体の割合	16.6% (2010 年度)	

〈想定される主な事業〉

☆…新規事業 ▶…継続・拡充事業

- ☆産業交流機会創出事業
- ☆技術力、競争力強化支援事業
- ☆住宅リフォーム助成事業
- ▶商店街活性化事業
- ▶優良農地の維持・保全
- ▶6次産業化の推進
- ▶地場産物の付加価値向上
- ▶地場農産物利用促進事業など

具体的施策2 観光産業の振興、観光消費の拡大

本市の歴史、文化、自然などを最大限に活かし、戦略的な情報発信やイベントの展開、各種まつりの充実、国際観光の推進などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
中心市街地で開催されるイベント参加者数	118,745人	
中心市街地で開催されるイベント数	55事業	
梅まつり入込観光客数	522千人	
市内外国人宿泊者数	16,414人	
新たな土産品の開発品数	新規 (2015年)	

〈想定される主な事業〉

- ▶戦略的な情報発信の推進
- ▶まちなかイベント開催事業
- ▶国際観光の推進
- ▶回遊性を高める機能強化と魅力づくり
- ▶戦略的イベントの展開と各種まつりの充実など

具体的施策3 多様な雇用の場の創出

企業誘致促進事業をはじめ、空き店舗を活用した創業支援、認定農業者等担い手の確保・育成、医療・福祉分野における人材の確保・雇用促進などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
創業支援事業計画推進事業等による 新規創業件数	37件	
創業支援事業計画推進事業等による 新規雇用者数	—	
企業誘致促進事業による 新規企業等立地数	新規	
認定農業者数	206経営体	

〈想定される主な事業〉

- ☆地方拠点の強化 ☆まちなか創業交流推進事業 ☆ベンチャー支援事業
- ☆水戸まちなかりノベーション事業 ☆U J I ターン企業説明会開催事業
- ☆地元企業の雇用促進事業 ☆知的財産の活用による新ビジネス創造プロジェクト
- ▶創業支援事業計画推進事業 ▶企業誘致促進事業 ▶空き店舗対策事業
- ▶認定農業者等担い手の確保・育成 ▶医療・福祉分野における人材確保・雇用促進など

具体的施策4 女性や高齢者等の活躍支援

様々な分野における女性の活躍の推進をはじめ、中高年齢者や若年者等の雇用の促進、障害者の就労支援に取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
市内事業所での女性管理職の割合	10% (2013年度)	
厚生労働省ポジティブ・アクション 登録企業数	8社 (市内企業)	
障害者の市内就労支援施設等における 工賃月額	14,565円 (2013年度)	

〈想定される主な事業〉

- ☆オープンデータ活用による女性の活躍支援 ☆高齢者の就労支援
- ▶女性の活躍推進
- ▶中高年齢者、若年者、女性等の雇用促進及び能力開発支援事業

基本目標Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す

移住希望者へのきめ細やかな支援等を推進し、定住人口の増加を図るとともに、本市の文化や、資源を最大限に活用し、観光交流人口を増加させることにより、ひいては定住人口の増加へつなげていくことを目指します。

【数値目標】

項 目	基 準 値	目 標 値 (2019 年度)
定住化（転入・転出による人口の増減）数 ※資料：水戸市統計	88 人 (2014 年)	
観光交流人口 ※資料：県観光客動態調査報告	3,426,000 人 (2014 年)	

《例：国の基本目標（成果指標、2020年）》

◆地方・東京圏の転出入均衡(2020年)・・・地方→東京圏転入均衡6万人減，東京圏→地方転出4万人増
※現状：東京圏年間10万人入超

【基本的方向】

- 市外から水戸への移住希望者等に対し、住みかえ支援や民間借上住宅を活用するなど、きめ細やかな取組を推進し、水戸への移住・定住を促進します。また、本社機能移転支援を行うなど、本市への企業及び各種機関の拠点機能の移転を促進します。
- 芸術、スポーツ、歴史、自然など、本市の文化や資源を最大限に活用し、交流人口（観光交流人口）の増加を図り、ひいては定住につなげます。

【具体的施策と重要業績評価指標（KPI）】

【具体的施策1】 水戸への移住・定住の促進

子育て世帯等まちなか住みかえ支援事業，住生活支援情報提供事業，民間住宅活用型市営住宅事業など，移住・住みかえ希望者への支援等に取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項 目	基 準 値 (2014 年度)	目 標 値 (2019 年度)
地元企業等への就職率（市内大学）	調整中	
中心市街地の居住人口	17,297 人	

〈想定される主な事業〉

- ☆未来を育む地域協創人材教育事業
- ☆まちなかライフスタイル発信事業

- ☆地方拠点の強化
- ☆住宅リフォーム助成事業

☆民間住宅活用型市営住宅事業

- ▶子育て世帯等まちなか住みかえ支援事業
- ▶住生活支援情報提供事業など

具体的施策2 芸術文化・スポーツ文化の交流による新たなにぎわいの創出

文化施設やスポーツ施設の整備を推進するとともに、本市ならではのスポーツ大会の開催、ホスピタリティの育成、コンベンション誘致活動の推進・強化などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
中心市街地の歩行者通行量	109,794人/日	
社会体育施設利用者数	780,929人	
大規模スポーツ大会の開催・誘致数	9大会	
コンベンション誘致数	4件	

〈想定される主な事業〉

☆トップアスリート育成指導者の招聘及び養成事業

☆第74回国民体育大会の開催に向けた取組の推進

☆みと・HIKARI・プロジェクト ☆オセロの聖地・みと・発信プロジェクト

☆水戸マラソンの開催

- ▶国体に向けたホスピタリティの育成
- ▶水戸ならではのスポーツ大会の開催
- ▶スポーツ施設・環境の充実
- ▶コンベンション誘致活動の推進と強化
- ▶泉町1丁目北地区再開発事業など

具体的施策3 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進

日本遺産に認定された水戸の教育遺産でもある偕楽園や弘道館周辺の魅力づくり・歴史まちづくりをはじめ、ロマンチックゾーンの魅力づくり、千波湖公園の整備事業などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
偕楽園の年間入込観光客数	1,021,552人	
弘道館の年間入込観光客数	61,354人	

〈想定される主な事業〉

- ▶ 偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進
- ▶ 弘道館・水戸城跡地周辺の魅力づくりの推進
- ▶ ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進
- ▶ 魅力ある景観の形成 ▶ 千波公園整備事業 ▶ 世界遺産登録に向けた取組の推進など

具体的施策4 水と緑の潤いある交流拠点の形成

豊かな自然環境の活用に向け、魅力ある景観の形成をはじめ、森林公園周辺における魅力づくり、千波湖の水質浄化、森林公園等の整備事業などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
森林公園来園者数	16万人	
七ツ洞公園来園者数 (大規模イベント開催日除く)	調整中	
千波湖中央の水質 (COD夏季の最大値)	19 mg/l	

〈想定される主な事業〉

- ▶ 森林公園周辺における自然資源を生かした魅力づくりの推進 ▶ 森林公園再整備事業
- ▶ 千波湖の水質浄化の推進 ▶ 大塚池公園整備事業 ▶ 七ツ洞公園整備事業
- ▶ (仮称) 東部公園整備事業など

基本目標Ⅲ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する

若い世代が安心して働けるよう雇用の場を創出するとともに、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や質の高い教育の展開，ワーク・ライフ・バランスの確保に取り組むことにより，夫婦が希望する出産・子育て環境を提供し，少子化の歯止めにつなげていくことを目指します。

【数値目標】

項目	基準値	目標値
合計特殊出生率 ※資料：水戸市統計	1.52人（2013年）	
子育て支援施策の満足度 ※資料：未来をつくる市民1万人アンケート	14.8%（2012年）	

《例：国の基本目標（成果指標，2020年）》

- ◆安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考えている人の割合・・・40%以上（2013年度 19.4%）
- ◆第1子出産前後の女性継続就業率・・・55%（2010年 38%）
- ◆結婚希望実績指標・・・80%（2010年 68%）
- ◆夫婦子ども数予定（2.12）実績指標・・・95%（2010年 93%）

【基本的方向】

- 若者の地元での就業機会の拡大を図るとともに，技術・能力育成を支援し，経済的安定を促進します。
- 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を通し，水戸での「出会い・生み・育てる」を促進します。
- 未来をリードする子どもたちの学力向上をはじめ，郷土を愛する心，心身ともにたくましく生きる力を育みます。
- ワーク・ライフ・バランスが社会に浸透するよう周知や企業等への働きかけを実施し，誰もがやりがいや充実感を感じながら働き，子育て，介護の時間や，家庭，地域，自己啓発等に係る個人の時間を持てる健康で豊かな生活を推進します。

【具体的施策と重要業績評価指標（KPI）】

【具体的施策1】 若者へのキャリア支援の推進

大学との連携によるキャリア支援をはじめ，女性の社会進出への支援，認定農業者等担い手の確保・育成などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 （2014年度）	目標値 （2019年度）
企業説明会参加企業数	新規	
新規就農者数	8人/年	

〈想定される主な事業〉

- ☆未来を育む地域協創人材教育事業
- ☆U J I ターン企業説明会開催事業
- ☆水戸市建設業協同組合等との連携による次世代育成事業
- ☆学・官連携によるリノベーション推進支援事業
- ☆知的財産活用による新ビジネス創造プロジェクト
- ☆困難を抱える若者への社会参加促進プロジェクト
- ▶市民活動人材育成・活用プログラム
- ▶女性の活躍推進
- ▶認定農業者等担い手の確保・育成
- ▶キャリア教育の充実など

具体的施策2 安心して子どもを産み育てることのできる環境の充実

不妊治療費の助成，妊産婦支援の充実や子どもの医療費助成，地域における子育て支援サービスの充実，就学前の教育・保育の充実，総合的な放課後児童対策の推進など，妊娠・出産・育児・教育におけるきめ細やかで切れ目ない子ども子育て支援に取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
支援ニーズの高い妊産婦のフォロー率	60.0%	
市民センター子育て広場開設数	10か所	
開放学級における 待機児童がいない学校数	24校	

〈想定される主な事業〉

- ☆結婚ときめきプロジェクト
- ☆オープンデータ活用による女性の活躍支援
- ▶子どもの医療費助成
- ▶不妊治療費の助成
- ▶妊産婦支援の充実
- ▶地域における子育て支援サービスの充実
- ▶就学前の教育・保育の充実
- ▶総合的な放課後児童対策の推進など

具体的施策3 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進

水戸スタイルの教育（まごころプラン、さきがけプラン、ふれあいプラン）をはじめ、郷土教育、国際理解教育、芸術教育の推進などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
放課後学力サポート事業導入校数	1校	
小中一貫校数	1校	
学力診断のためのテスト(県)の 総合得点の平均点(対県平均との比較)	調整中	

〈想定される主な事業〉

- ▶まごころプランの推進
- ▶さきがけプランの推進
- ▶ふれあいプランの推進
- ▶郷土水戸に関する教育の充実
- ▶国際理解教育の推進
- ▶芸術教育の推進
- ▶情報教育の推進
- ▶学校教育における食育の推進など

具体的施策4 ワーク・ライフ・バランスの推進

長時間労働の抑制、育児休業の取得促進、働き方に関する意識や職場環境の見直し等企業取組への支援などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する 講演会等の開催回数	1回	
ワーク・ライフ・バランスへの取組を行っている 事業所の割合	16.0% (2013年度)	

〈想定される主な事業〉

- ▶女性の活躍推進
- ▶育児休業の取得促進
- ▶長時間労働の抑制
- ▶企業取組への支援など

基本目標Ⅳ 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る

時代の変化に対応できる都市構造や交通ネットワークを構築するほか、市民一人一人が安全に安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、本市の都市力の向上を図ることにより、市民が誇れるまちとして、まち全体の活性化につなげていくことを目指します。

【数値目標】

項 目	基 準 値	目 標 値 (2019 年度)
生活環境の満足度 ※資料：未来をつくる市民1万人アンケート	73.5% (2012 年)	

【基本的方向】

- まちなか居住をはじめ、都市核へ機能集積を図りながら、都市部と周辺部それぞれの持つ資源や特性を生かし、適正な役割分担のもと、市民生活の利便性向上を図り、次世代に過度の負担を残さないまちを形成します。また、都市核と地域の生活拠点を結ぶ公共交通の利便性向上に取り組むとともに、人と環境に優しいまちなか交通体系の構築に向け、歩いて楽しめる道路空間や快適な自転車通行空間の整備を推進します。
- 住宅や社会資本などの既存ストックの適切な維持管理と更新を図り、それらの機能を今後とも維持して本市の経済や市民の生活の発展を支えます。
- 身近なコミュニティ、行政等がそれぞれの役割や特性に応じ、自助・近助・共助・公助による連携強化により、市民が住み慣れた地域で安全で安心な暮らしへの取組を推進します。
- 火災・災害をはじめとした様々な危機事象への対応力とともに、防災力をさらに高めることにより、市民生活における多様な不安解消を図ります。
- 自主・自立したまちづくりに向け、中核市移行への取組を推進します。また、県央地域首长懇話会において、水戸市が中心市となって、医療をはじめ、福祉、産業振興、環境、教育、地域交通などの分野で、構成市町村と連携して、定住自立圏の形成を目指します。さらに、北関東中核都市連携会議において、広域的な観光振興などに取り組み、それぞれの都市力の向上、ひいては、北関東全域の活性化を目指します。

【具体的施策と重要業績評価指標（KPI）】

【具体的施策1】 都市機能の集積と交通ネットワークの形成

都市核における交流拠点の整備をはじめ、まちなか公共交通利用促進事業、公共交通再編事業、自転車利用環境の整備、子育て世帯等まちなか住みかえ支援事業などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値
公共交通機関が充実していると感じている 市民の割合	31.7% (2012年度)	
都市核の人口集積度	調整中	

〈想定される主な事業〉

☆まちなかライフスタイル発信事業 ☆立地適正化計画

☆中心市街地における機能集約・再配置への取組

- ▶まちなか公共交通利用促進事業 ▶地域公共交通再編事業 ▶自転車利用環境の整備
- ▶新たなバリアフリー基本構想の策定・施策の推進 ▶歩いて楽しめる道路空間整備
- ▶子育て世帯等まちなか住みかえ支援事業 ▶泉町1丁目北地区再開発事業など

具体的施策2 既存ストック（住宅等）の再生、利活用

市営住宅の建替事業及び長寿命化型改修事業，民間住宅活用型市営住宅事業をはじめ，空き家の未然防止，水戸駅北口駅前広場の再整備などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
住宅リフォーム助成件数	新規	
J T I（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度の市内取扱店舗数	2件	

〈想定される主な事業〉

☆住宅リフォーム助成事業 ☆マンション管理適正化推進事業

☆民間住宅活用型市営住宅事業

- ▶水戸駅北口駅前広場の再整備 ▶住生活支援情報提供事業
- ▶市営住宅建替事業及び長寿命化型改修事業など

具体的施策3 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進

地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進するとともに，医療・福祉分野における人材の確保や雇用の促進，市民活動における人材育成などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項 目		基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
救急・周産期・小児医療に係る 常勤医師数	水府病院	救急 11 人	
	済生会	救急 80 人 救命救急センター 5 人 周産期 7 人 小児 2 人	
	日 赤	救急 54 人 感染症 4 人 周産期 7 人 小児 2 人	
	協 同	救急 116 人	
水戸市の看護師・准看護師数		3,578 人 (2012 年度)	

〈想定される主な事業〉

☆高齢者等の外出支援策の実施

- ▶老人福祉センターにおける多世代交流の推進 ▶公的病院等救急医療等運営補助事業
- ▶医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進
- ▶地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進
- ▶市民活動人材育成・活用プログラムなど

具体的施策 4 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進

市民生活の基盤となる住宅や道路等のさらなる危機対応力の強化に向け，道路ボランティアサポート事業，住宅の耐震化の促進，雨水排水整備プログラムの推進などに取り組みます。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
道路ボランティアサポート団体数	2 団体	
住宅の耐震化率	83.3% (2013 年度)	
浸水被害箇所数	201 か所	

〈想定される主な事業〉

☆市民協働による地域防災の推進及び防災意識の啓発

☆建築物の落下対策の推進

- ▶大洗鹿島線安全輸送設備等整備支援事業 ▶道路ボランティアサポート事業
- ▶住宅の耐震化の促進 ▶雨水排水施設整備プログラムの推進など

具体的施策5 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上

中核市移行に向けた取組を進めるとともに、県央地域定住自立圏の形成に向けた取組など広域連携を推進します。

〈重要業績評価指標（KPI）〉

項 目	基準値 (2014年度)	目標値 (2019年度)
茨城県央地域定住自立圏における連携事項数	新規 (2015年度)	
北関東中核都市連携会議における連携事業数	新規	

〈想定される主な事業〉

☆中核市移行に向けた取組の推進

☆「茨城県央地域定住自立圏」形成に向けた取組の推進

▶北関東中核都市連携会議における連携事業の推進など